

アナログ技術の伝承セミナー開催のお知らせ

昨今、オンデマンド流行りでアナログ技術が後回しになっている感じが致します。
日本のラベル業界の樹脂凸版印刷技術は世界水準をはるかに凌駕しております。
その証拠には世界コンテストの凸版部門は、ここ数年、日本の作品の独壇場であります。
特に、平圧印刷機の伝統的な技術は何とかして廃れさせずに残しておきたいと思っております。
そこで、微力ながら当社の工場を使って『アナログ伝統技術を学ぶ会』を開こうと企画しております。
入社3～5年で一応平圧機の経験のある方（雄型紙を掘った経験がある方）数名に来ていただいて、実際に機械を回して一日がかりで色々な技術をお教えして、その模様を映像化して全日の技術資料として残しておきたいと思ったのです。
従って教わっている様子が記録として残ってしまいますが、それでも学びたいという勇気のある方を募集致します。
個人名は公開しますが、所属企業名は一切公開致しませんのでご安心ください。
ご希望の方は社長さんの了解のもと、下記の応募要項に従って申込みください。
もちろん日当、交通費は自前です。また経験豊富な各社の工場長クラスの方はご遠慮ください。
私が教わることになっては面目が立ちません。なるべく中小、零細企業の方をお願いしたいと思っております。
大企業にはそれなりの新人育成プログラムがあるはずですし、我が社の汚くて狭い工場にショックを受けるといけませんので。内容を映像に残すことによって、恥を末代まで残すことになるとも考え、また私が苦勞して習得した技術を公開してしまうのはすいぶんと勇気がいったのですが、私も60才の半ばをすぎ元気でいられる年月も少ないなと感じて思い切って決断致しました。

昨今、大阪の金光氏が『金光塾』を興して、技術の共有を目指すべく色々な活動をされている由、大変頭の下がる思いであり、このような若手の台頭は全日技術委員会の将来に希望の光が差して来た思いであります。
私や京都の西野委員長が『アナログ伝統技術』で能書きを垂れるのはあと数年かとも思い、なるべく中身の濃いものにしようと企画しております。
平圧、輪転(凸版)の基本的な技術を中心にしますが、それだけでは面白くないので内容の一部は、1.粘着力の強い薄いフィルムのカス上げ方法 2.雄型紙を掘らずに掘ったことにする方法などを考えております。
応募方法は、添付の応募用紙にご記入の上、FAXにてお申込みください。
応募用紙には問題が付けてありますが、判る範囲で回答ください。
別に出来ないからダメという訳ではありません。
上司に相談するのもOKです。
申し訳ございませんが応募者多数の場合、私の判断で数名に絞らせて頂きますので、ご容赦ください。

また関西方面では、京都の西野技術委員長の技を学ぶセミナーの企画が進行中です。
こちらもご期待ください。

全日シール技術委員長
山下 庫太

応 募 要 項

日 時：8月9日（土曜日） AM 9：20～18：00（12：00～13：00 昼食休憩）

京急線 南太田駅改札口 AM 9：00 集合（時間厳守）

場 所：(有)啓佑社 工場

横浜市南区共進町1丁目10番地 TEL.045-711-7850

応募方法：別紙応募用紙に記入の上、期日までに 045-711-7950 に FAX してください

応募締切：7月31日 FAX 到着分（臨機応変に対応致します）

応募結果：8月5日に当方からお電話致します。（応募者超多数の場合、連絡は当選者のみになる場合もありますので、ご容赦ください）

講義内容（学科講義）

1. 色の基本知識とインキの特性
2. 凸版印刷（特に平圧機）の特徴とマージナル
3. 印刷機械の物理的特性
4. その他雑学

講義内容（実機演習）

1. 抜きのムラ取り及び角度補正
2. 色々なカス上げ
3. 平圧機のセッティング（雄型紙を掘るとなぜ綺麗になる？）
4. 輪転機のセッティング（グラデの綺麗な消しかた）
5. 全抜きと貼り合せのテクニック

講義内容は予告無しに変更する場合がありますので予めお断りいたします。

なお、反省会と称して6：30頃より懇親会をいたします。（会費別途実費 2～3千円）

時間の許す範囲でご参加ください。